

自動車管理(計画・変更計画書・報告)書

令和 6年 7月 17日

(宛先)
滋賀県知事 三日月 大造 様

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
大津市御陵町3番1号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
大津市長 佐藤 健司

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例
第44条第3項において準用する同条例第25条第3項・
第46条第1項・第46条第2項において読み替えて準用
第45条第1項
第46条第2項において準用する同条例第45条第1項
第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項
する同条例第44条第3項において読み替えて準用する同条例第25条第4項
の規定に基づき、
自動車管理計画を策定(変更)し、
作成したもので、提出します。

1 事業者に関する事項

事業者の氏名 (法人にあっては、名称 および代表者の氏名)	大津市長 佐藤 健司		
事業者の住所 (法人にあっては、主たる 事務所の所在地)	大津市御陵町3番1号		
県内事業所数	12	事業所	
県内自動車使用台数	377	台	
自動車の使用に伴う 温室効果ガス排出量	764.1	t-CO ₂	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	令和3 年度	終了年度	令和7 年度
報告対象年度	令和5 年度			

3 計画(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

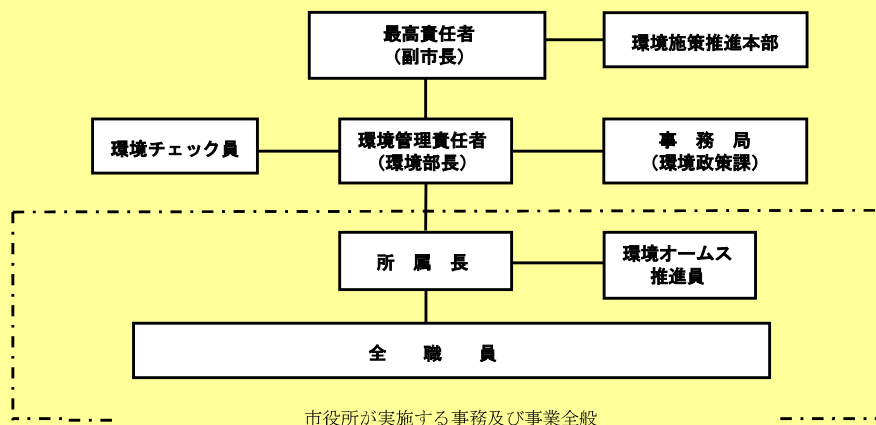
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本的な方針

市役所では、公用車の運行上での環境配慮行動が地球温暖化への影響を緩和するうえで重要であることを認識し、公用車の効率的利用の推進等に努めます。

2 取組の推進体制

大津市環境マネジメントシステム推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

3 自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に関する取組の内容

項目	取組の内容	目標達成確認指標			実施結果
			現状	目標	
自動車使用の合理化	公用車燃料の使用量の削減(指定管理者制度導入施設を除く)(過年度より継続)	ガソリン・軽油の使用量	平成26年度実績 (ガソリン) 238,632ℓ (軽油) 104,349ℓ ※企業局を除く	令和7年度目標 (ガソリン) 226,700ℓ (軽油) 99,131ℓ ※平成26年度比△5.0%	令和5年度実績 (ガソリン) 222,854ℓ (軽油) 95,413ℓ 平成26年度比 (ガソリン) △6.6%(△15,778ℓ) (軽油) △8.6%(△8,936ℓ) ガソリンは昨年度より増加したが達成。軽油は昨年度より減少し達成。
	公用車の一元管理システムの継続(過年度より継続)	一元管理	継続	継続	公用車の一元管理を継続中 公用車の一元管理は継続していく。
より温室効果ガス排出量が少ない自動車の導入	老朽車両の更新(廃車)	保有台数	平成19年3月以前登録の車両 90台	状況に応じ更新(廃車)	平成19年3月以前登録の車両48台 令和4年度比 △15.8%(△9台) 順調に車両の入替が進んでいる。
	低公害車の導入、優先的利用	導入台数	ハイブリッド車 3台	状況に応じ、導入	ハイブリッド車8台 電気自動車2台
次世代自動車等の保有比率を高める取組	次世代自動車等の導入	保有率	0.8%	状況に応じ、導入	377台中 ハイブリッド車10台、電気自動車2台 保有率 3.2%
従業員に対する自動車使用に伴う温室効果ガス排出削減に関する教育	大津市環境管理システムの取組項目へのエコドライブの組入れと同システム研修会での啓発	研修内容の反映	研修での啓発(年1回)	運転状況の分析と啓発	予定どおり研修会を1回実施した。
	公共交通機関での移動と公用車の相乗り	職員への啓発	継続	継続	職員ノーマーカー運動は取り組みを継続していく。
その他の取組	公用自転車の活用(過年度より継続)	活用の周知	徹底	徹底	公用自転車の活用を継続中。引続き活用を啓発していく。
	駐車場における市民・職員へのアトラック・ストップの呼びかけ	貼紙等の掲示	掲示	掲示	引続き啓発に努める。

備考 現状や目標については、必要に応じて、文章による記載でも構いません。